

2025 年度 一般入学試験（1 月 31 日）

地理歴史・公民・理科

〔世界史探究, 日本史探究, 政治・経済〕
〔物理基礎・化学基礎・生物基礎〕

（試験時間 60 分）

この問題冊子には、「世界史探究」「日本史探究」「政治・経済」の3科目及び「理科（物理基礎・化学基礎・生物基礎）」を掲載しています。解答する科目を間違えないように選択しなさい。

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この注意事項は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。ただし、問題冊子を開いてはいけません。
- 3 この問題冊子は、125ページあります。出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出 題 科 目		ペ ー ジ	選 択 方 法
地理 歴史 ・ 公民	世界史探究	4 ～ 29	左の3科目のうち1科目を選択して解答する。
	日本史探究	30 ～ 57	
	政治・経済	58 ～ 83	
理科	物理基礎・化学基礎・ 生物基礎	85 ～ 125	試験時間内に左の3科目のうち2科目を選択して解答する。

- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 「地理歴史・公民」の科目を選択する者は「地理歴史・公民解答用紙」を、「理科」の科目を選択する者は「理科解答用紙」を使用しなさい。

「理科」は解答用紙1枚で2科目を解答します。解答の順番は問いません。解答時間(60分)の配分は自由です。

裏表紙へ続く、裏表紙も必ず読むこと。

6 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

① 試験コード欄・座席番号欄

試験コード・座席番号(数字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄

氏名・フリガナを記入しなさい。

③ 解答科目欄

解答する科目を一つ選び、科目名の右の○にマークしなさい。マークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。

7 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解答 番号	解 答 欄									
10	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

8 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。

9 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

日本史探究

(解答番号 1 ～ 36)

第1問 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。

A 6世紀に入ると、^㉑仏教受容に関する崇仏論争や皇位継承をめぐる対立など、ヤマト政権内部で豪族層の争いが展開された。さらに、592年には大臣蘇我氏に崇峻天皇が暗殺され、王権は大きく動揺した。こうしたなか即位した^㉒推古天皇のもとで、厩戸王(聖徳太子)が天皇を中心とした官僚制国家を構築することを企図し、大陸から伝来した仏教や儒教の思想を導入しながら政治改革にあたった。しかし、その後、皇極天皇の時代には ア が蘇我入鹿に暗殺されるなど、蘇我氏が専制的態度を強めたため、中大兄皇子や中臣鎌足らは、645年、乙巳の変で蘇我本宗家を滅ぼした。

この乙巳の変の後、大王宮は飛鳥から難波に移され、イ として旻や高向玄理が登用されるなど、孝徳天皇のもとで新政権が発足した。翌646年には4か条からなる^㉓改新の詔が發布されて政策方針が示され、中央集権体制の整備が進んでいった。しかし、急激な改革に対して不満を抱く豪族も多く、663年、^㉔白村江の戦いで唐・新羅連合軍に敗北して国家的危機に直面すると、政策の変更を強いられることとなった。

問 1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 山背大兄王 イ 国博士
- ② ア 山背大兄王 イ 五経博士
- ③ ア 古人大兄王 イ 国博士
- ④ ア 古人大兄王 イ 五経博士

問 2 下線部①に関連して、仏教伝来に関して述べた次の文 X・Y と、それに該当する語句 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

X 百済の王であったこの人物は、欽明天皇に仏像や経論を伝えたが、これが仏教公伝とされている。

Y この文献に見られる記述では、538 年が仏教公伝の年にあたるとされている。

a 好太王

b 聖明王

c 『上宮聖徳法王帝説』

d 『日本書紀』

① X — a Y — c

② X — a Y — d

③ X — b Y — c

④ X — b Y — d

問 3 下線部⑥に関連して、推古天皇が政策を行っていた時期の文化に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 3

- ① 文章経国の思想を背景に漢詩文が隆盛し、『凌雲集』『文華秀麗集』などの勅撰漢詩文集が編まれた。
- ② 「帝紀」や「旧辞」をもとに国史の編纂事業が進展して、『古事記』『日本書紀』が完成した。
- ③ 中国南北朝の北魏様式を受容した、きびしくも整った表情をもつ法隆寺金堂釈迦三尊像が制作された。
- ④ 神社の境内に神宮寺が建てられるようになるなど、仏と神は本来同一であるとする神仏習合思想が起こった。

問 4 下線部㉔に関連して、改新の詔の内容に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 4

- ① 戸籍・計帳の作成と班田収授法の実施の方針が示された。
- ② 富本銭の鑄造など、全国流通を企図した貨幣鑄造の方針が示された。
- ③ 田地に賦課する税などの新たな税制を施行する方針が示された。
- ④ 豪族の田荘・部曲を廃止して公地公民制への移行を目指すことが示された。

問 5 下線部㊤に関連して、白村江での敗戦を受けてとられた防衛政策に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

5

- ① 兵の質を向上させ、防衛力を強化するため、郡司の子弟からなる健児の制が定められた。
- ② 東海道の伊勢国に鈴鹿関、東山道的美濃国に不破関、北陸道の越前国に愛発関の三関が設置された。
- ③ 宮中を警護する滝口の武者や、令外官として天皇に直属した検非違使が設置された。
- ④ 九州北部に防人・烽が設置されたほか、百済からの亡命貴族の技術指導により西日本一帯に朝鮮式山城が造営された。

B 藤原氏北家は、㉔9世紀以降、㉕有力な氏族を排斥し皇室と姻戚関係を構築することによって、次第に権力を掌握していった。その台頭の契機となったのは、藤原冬嗣が平城太上天皇の変に際し、嵯峨天皇より蔵人頭に任命されたことであった。蔵人頭は、詔勅の伝達や機密文書の保管などの重責を担い、出世の登竜門となった。

その後、㉖延喜・天暦年間に天皇親政が推進された時期もあったが、10世紀後半に起こった安和の変以降、摂政・関白は常置され、その地位は藤原氏北家が独占した。そして、氏の長者の地位をめぐる一族間の権力闘争を経て、㉗藤原道長の時代になると、摂関政治は全盛期を迎えた。ただし、摂関政治のもとでも政策審議において太政官が機能しており、重要な国政に関わる議題については、陣定という会議で公卿の意見が求められ、天皇の決裁の参考にされた。

問6 下線部㉔に関連して、9世紀に政府が実施した財源確保のための政策に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

6

X 墾田永年私財法を制定し、政府は荘園の拡大をはかった。

Y 大宰府に公営田を、畿内に官田を設置した。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問7 下線部⑥に関連して、藤原氏北家が関与したとされる他氏排斥事件に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 7

- Ⅰ 応天門の炎上をめぐり、大納言の地位にあった伴善男が伊豆に配流された。
 Ⅱ 関白就任を求める勅書のなかの「阿衡」の文言が問題視され、その起草者が処罰された。
 Ⅲ 皇太子の恒貞親王を擁して謀反を企てたとして、伴健岑・橘逸勢が流罪となった。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
 ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問8 下線部⑧に関連して、醍醐天皇と村上天皇の治世に起こった出来事に関して述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 8

- a 律令体制の再建を目指し、勅旨田の停止などを内容とする初の荘園整理令が発布された。
 b 東国で平将門の乱、西国で藤原純友の乱が起こるなど、日本の東西で武士の反乱が相次いだ。
 c 本朝十二銭の最後となった、乾元大宝が鑄造された。
 d 征夷大將軍坂上田村麻呂により、胆沢城が築かれた。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問 9 下線部⑥に関して述べた次の文 **X**・**Y**について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

9

X 藤原道長は、娘4人を~~中宮・皇太子妃~~とし、~~後一条天皇・後朱雀天皇・後冷泉天皇~~の3代の天皇の外祖父としての立場を確保した。

Y 藤原道長は、女真族の~~刀伊~~の北九州への来襲を、押領使として藤原秀郷を派遣して鎮定した。

① **X** 正 **Y** 正

② **X** 正 **Y** 誤

③ **X** 誤 **Y** 正

④ **X** 誤 **Y** 誤

(下 書 き 用 紙)

日本史探究の試験問題は次に続く。

第2問 次の文章A・Bは、日本史の授業後に生徒と先生が交わした会話である。

この文章を読み、下の問い(問1～9)に答えよ。

A

生徒：①源頼朝が鎌倉幕府を確立した後、幕府と朝廷の公武二元的な支配体制になりましたが、②承久の乱の後にその状況は大きく変わりましたよね。承久の乱の後の鎌倉幕府の政治の変化について詳しく知りたいです。

先生：はい。その後は北条氏による執権政治が展開され、本格的な武家政治が確立していきました。具体的には、3代執権北条泰時の時代はその画期と言われています。忘れてはいけないのが、初の武家法となった③御成敗式目が制定されたことですね。御成敗式目は、のちの室町幕府でも基本法典とされ、さらに、戦国大名の分国法にも大きな影響を与えました。

生徒：なるほど。確か、5代執権北条時頼の時代になると、北条氏の独裁的傾向が強まっていましたよね。1247年に起こった ア では、有力御家人であった三浦泰村が滅ぼされています。

先生：よく知っていますね。この合戦では、三浦氏一族のみならず、その従者も合わせて約500人の者が自害したと伝えられています。

生徒：500人もですか。北条氏の権力が拡大していった状況を象徴する出来事ですね。

先生：そうですね。北条時頼の時代には、とくに イ 家に権力が集中していきました。そして、イ 家の権力がさらに高まる契機になったのは、④モンゴル襲来、いわゆる元寇なのです。このことについては、次の授業で詳しく解説しましょう。

問 1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **10**

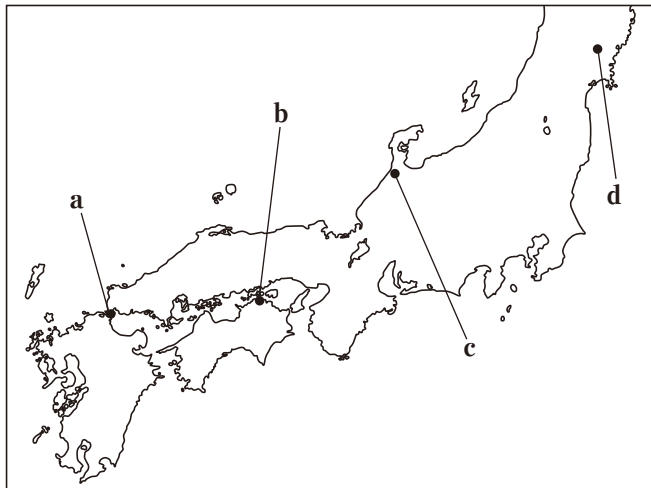
- ① ア 霜月騒動 イ 管 領
- ② ア 霜月騒動 イ 得 宗
- ③ ア 宝治合戦 イ 管 領
- ④ ア 宝治合戦 イ 得 宗

問 2 下線部①に関連して述べた次の文 **X**・**Y**と、それに該当する地図上の位置 **a**～**d**との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

11

X 源頼朝は、弟の範頼・義経らの軍を派遣して、安德天皇を奉じて西国に都落ちした平氏を追いつめ、1185年にこの地で滅ぼした。

Y 源頼朝に追われていた源義経をかくまった勢力の根拠地であり、藤原清衡・基衡・秀衡の3代がこの地で繁栄を誇った。



- ① X — a Y — c ② X — a Y — d
- ③ X — b Y — c ④ X — b Y — d

問 3 下線部⑥に関連して、承久の乱とその戦後処理に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 12

- ① 東国武士の大多数は、源頼朝の妻であった北条政子の呼びかけに応じることなく、朝廷側の味方についた。
- ② この乱の後、幕府は朝廷を監視することを目的として六波羅探題を設置し、その初代に北条時政を任命した。
- ③ 幕府側の勝利により、後鳥羽上皇は隠岐、順徳上皇と土御門上皇はそれぞれ伊豆と讃岐に配流された。
- ④ この乱の後、幕府は朝廷側についた貴族や武士の所領約3000か所を没収し、戦功のあった御家人らをその地の地頭に任命した。

問 4 下線部⑦に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 13

- ① 御成敗式目は、頼朝以来の先例や、武士社会の慣習・道徳である道理を基準として制定された。
- ② 御成敗式目では、大犯三カ条と呼ばれた守護の任務や、地頭の権限についての規定が明文化された。
- ③ 御成敗式目では、御家人同士や御家人と荘園領主との間の紛争を、公平に裁く基準が示された。
- ④ 御成敗式目が制定された後に鎌倉幕府が発布した法令は、建武以来追加と呼ばれた。

問 5 下線部㊤に関して述べた次の文 **a** ～ **d** について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 14

- a** モンゴル帝国を率いていたチンギス＝ハンの孫のフビライは、都を大都（北京）にうつし、国号を元に改めた。
- b** フビライは、朝鮮半島の契丹（遼）を全面的に服属させた後、日本に対してたびたび朝貢を強要してきた。
- c** 文永の役後、幕府は九州地方の軍事統率や訴訟裁判などを担当する九州探題を設置し、博多湾沿岸に石築地を設けた。
- d** 弘安の役では、東路軍・江南軍を合わせて約14万の大軍が北九州に襲来した。

- ① **a ・ c** ② **a ・ d** ③ **b ・ c** ④ **b ・ d**

B

生徒：1368年に **ウ** によって明が建国されると、明は日本を含む周辺諸国に
通交を呼びかけ、華夷秩序の復活を目指したと授業で学びました。それに
応じて、^⑤足利義満は明と正式な国交を締結したのですね。

先生：そうです。その背景には、1401年に遣明船の使者として明に派遣された博
多商人の肥富が、^⑥明との貿易の必要性を幕府に主張したことがあると言わ
れています。

生徒：日明外交には、別格上位の **エ** を頂点として定められた五山の^⑧禅僧
らが深く関わったと授業で触れられていましたが、それについて詳しく知り
たいです。

先生：はい。東アジアでの外交活動においては、漢文で書かれた外交文書を理解し
て意思疎通をはかることが必須でした。そこで、五山文学と呼ばれる漢詩文
の創作など漢学に精通していた五山僧が、外交使節や外交文書の作成者とし
て幕府に重用されたのです。

生徒：なるほど。中国文化に対する豊富な知識を外交に役立てたのですね。五山文
学の双璧と言われた絶海中津や義堂周信が、なぜ幕府の政治・外交顧問とし
て活躍したのか、その理由がわかりました。

問6 空欄 **ウ** **エ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④
のうちから一つ選べ。 **15**

- | | | | | |
|---|---|-----|---|-----|
| ① | ウ | 朱元璋 | エ | 南禅寺 |
| ② | ウ | 朱元璋 | エ | 寿福寺 |
| ③ | ウ | 李成桂 | エ | 南禅寺 |
| ④ | ウ | 李成桂 | エ | 寿福寺 |

問7 下線部㉔に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 16

- a 足利義満は、有力な守護大名を抑圧し、山名氏清を明德の乱で討伐した。
- b 足利義満は、鎌倉府と対立し、足利持氏を永享の乱で討伐した。
- c 足利義満は、観阿弥・世阿弥父子を保護し、芸術性の高い猿楽能の完成に寄与した。
- d 足利義満は、明障子や付書院を備え、書院造の代表例とされる東求堂同仁斎を造営した。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問8 下線部㉕に関連して、日明貿易に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 17

- ① 遣明船は、明の皇帝から交付される勘合と呼ばれる証票を持参することが義務づけられた。
- ② 朝貢形式の貿易であったため、それを嫌った4代将軍の足利義教により貿易は一時中断された。
- ③ 幕府の財政基盤の確保を重視した6代将軍の足利義持の意向により、明との貿易が再開された。
- ④ 貿易の実権は次第に守護大名らに移行し、16世紀前半には寧波の乱に勝利した細川氏が貿易を独占するようになった。

- 問 9 下線部⑧に関連して、次の図は禅の精神世界を表現したとされる庭園の写真である。図の庭園に関して述べた下の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

18

図



- X 図の庭園は、岩石と砂利を組み合わせる象徴的な自然を表したとされる、龍安寺の枯山水の庭園である。
- Y 図の庭園がつくられたのと同時期に、如拙が、禅の精神を具体化した「瓢鮎図」などの水墨画を描いた。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

(下 書 き 用 紙)

日本史探究の試験問題は次に続く。

第3問 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。

A 「天下分け目」の決戦とされた関ヶ原の戦いを経て成立した江戸幕府は、[Ⓐ]太閤
検地により構築された石高制を通じて、将軍と大名との主従関係を成立させた。
そのため、大名知行制という全国支配の体制のなかで、所領を割り振られた大名
は、合戦のときなどに石高に応じた軍役を課された。しかし、太平の世となった
江戸時代には、大名が軍役を負担する機会がなくなったため、[Ⓑ]1635年に制度
化された参勤交代が、将軍と大名との間の主従関係を確認する行為となった。

一方、年貢も、検地帳に登録された本百姓から石高を基準として徴収され、こ
れが幕府の重要な財源となったため、幕府は農村支配を重視した。村請制のもと、
名主・ア・百姓代からなる村方三役と呼ばれた村役人が村政をつかさどり、
[Ⓒ]本百姓にはさまざまな負担が課された。さらに、1640年代には イ の飢
饉が起こって、農民の生活は苦しくなった。本百姓の没落により、年貢徴収量が
減少することに危機感を抱いた3代将軍の[Ⓓ]徳川家光は、農民統制を強化する政
策を推進した。

問1 空欄 ア イ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④
のうちから一つ選べ。 19

- ① ア 年 寄 イ 寛 文
- ② ア 年 寄 イ 寛 永
- ③ ア 組 頭 イ 寛 文
- ④ ア 組 頭 イ 寛 永

問2 下線部㉔に関連して、太閤検地で行われたことに関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① 土地一区画ごとに、上・中・下などの等級を定めた。
- ② 土地の面積表示を、町・段・畝・歩に統一した。
- ③ 地域によって容量が異なっていた枡の容量を、宣旨枡に統一した。
- ④ 一地一作人の原則に基づき、農民に田畑の耕作権を容認した。

問3 下線部㉕に関連して、参勤交代を初めて制度化した際の武家諸法度に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 21

- ① 金地院崇伝が起草者で、大名の居城については修補の届出義務や新築の厳禁なども明記された。
- ② 武断政治から文治主義的政治への移行にともない、「忠孝」や「礼儀」を重視する内容となった。
- ③ 幕府に仕えた儒学者である林羅山が起草者で、500石積以上の大船建造の禁止なども明記された。
- ④ 由井正雪の乱を受けて、末期養子の禁止の緩和や殉死の禁止などを明記し、それまでの慣習を否定した。

問4 下線部㉖に関連して、本百姓に課された負担に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 22

- ① 一国単位でかけられる河川の土木工事の負担などの夫役を、官物といった。
- ② 幕府の役人が街道を通行するための人足や馬を差し出す、伝馬役があった。
- ③ 田畑や屋敷地にかかる本年貢(本途物成)は、金納が原則であった。
- ④ 山野河海の利用や農業以外の副業には、高掛物が課された。

問 5 下線部④に関連して、徳川家光の治世に整備されていった「鎖国」体制に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 23

- Ⅰ 奉書船以外の海外渡航と、海外居住 5 年以上の者の帰国を禁止した。
- Ⅱ 肥前国の平戸にあったイギリス商館が、閉鎖された。
- Ⅲ 平戸のオランダ商館を、長崎の人工島であった出島へ移設した。

- | | | | | | |
|---|-----------|---|-----------|---|-----------|
| ① | Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ | ② | Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ | ③ | Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ |
| ④ | Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ | ⑤ | Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ | ⑥ | Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ |

B 江戸時代に⑤貨幣経済が浸透するなかで、幕府や藩は、年貢米を都市で換金し、貨幣収入の確保に努めた。そのため、年貢米が商品として販売されることになり、米価は市場原理のもとで需給関係に左右されるようになった。17世紀に新田開発が盛んに行われて米の増産が進んだが、市場への供給量が増えると価格は下落するため、18世紀初頭には、年貢米換金収入の減少が幕府や藩の財政を圧迫した。このように米価安が課題とされるなかで、8代将軍に就任した徳川吉宗は、財政再建を目指して⑥享保の改革を推進した。このとき政治顧問の役割を果たした⑧儒学者の荻生徂徠は、『政談』で武士の帰農を説くなど諸問題の解決策を提示した。

享保の改革における年貢増徴策は幕府財政を好転させたが、農民の犠牲をともなうものであり、1730年代前半に西日本を中心として起こった享保の飢饉が民衆の生活にさらなる打撃を与えた。その後、18世紀後半に幕政を主導することとなった⑨老中の田沼意次は、年貢増徴策をとることに限界を感じていたため、これまでの政策とは異なる財政再建策を進めようとした。

問6 下線部㉔に関連して、江戸時代の貨幣に関して述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 24

- a 金貨は額面を記した計数貨幣で、その単位は両・分・朱であり、おもに東日本で取引の決済の際に使用された。
- b 寛永期に江戸などに開設された錢座で、永楽通宝の錢貨が大量に発行され、全国に流通した。
- c 4代将軍徳川家綱の治世に、保科正之の建議で、金の含有率を下げた元禄小判が鑄造された。
- d 7代将軍徳川家継の治世に、物価の高騰を抑えるために、金の含有率を上げた正徳小判が鑄造された。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問7 下線部㉕に関連して、享保の改革で推進された政策に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 25

- X 幕府の財政再建の一環として年貢率の引上げを企図し、定免法ではなく検見法を広く取り入れた。
- Y 目安箱を設けて庶民からの意見を求め、貧民を対象とする医療施設の小石川養生所を設けた。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

問 8 下線部⑧に関連して、江戸時代の儒学者に関して述べた次の文X・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 26

X この人物は、中国語・朝鮮語に通じた朱子学者で、対馬藩の宗氏に仕えて朝鮮との外交を担当した。

Y 熊沢蕃山は、この書物を著したことにより、幕政を批判したとして下総古河に幽閉された。

a 雨森芳洲 b 木下順庵 c 『大学或問』 d 『聖教要録』

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ① X — a Y — c | ② X — a Y — d |
| ③ X — b Y — c | ④ X — b Y — d |

問 9 下線部⑨に関連して、田沼意次が老中であった期間の政策や出来事に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① 金銀の海外への流出を抑制するため、清とオランダとの貿易額を制限する措置をとった。
- ② 大塩平八郎の蜂起を受けて、関東の治安維持を目的とした関東取締出役が設置された。
- ③ 浅間山の大噴火によって天候不順に拍車がかかり、西日本を中心に天保の飢饉が起こった。
- ④ 商人や職人の仲間を株仲間として広く公認して、運上や冥加などの営業税の増収を目指した。

第4問 次の文章A・史料Bを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

A 対馬海峡を隔てて隣に位置する朝鮮半島は、帝国主義が世界に波及するなか、日本にとって安全保障上、重要な地域になった。明治政府は、清の冊封下にあった朝鮮を清から切り離し、自立させることが重要な外交課題であることを認識していた。㉠1870年代から80年代にかけて、朝鮮国内で親日派と親清派が対立して政治的混乱が続いたことにより、日本と清の関係も悪化していった。日本では1890年、山県有朋首相が第一議会の施政方針演説で、朝鮮半島を「**ア**」と表現するなど、安全保障上、軍事力増強の必要性を主張した。

1890年代には、ロシアがシベリア鉄道の建設に着手するなど東アジアへの南下政策を推進したため、日本はロシアへの警戒心をより強めることとなった。一方、ロシアの南下を阻止したいイギリスが、軍事面で日本の力を利用しようと考えようになり、日本の㉡条約改正事業に対しても協力的となった。こうして、1894年、日英通商航海条約が締結され、日本は法権回復を実現した。そして、その約2週間後、朝鮮における**イ**をきっかけに㉢日清戦争が勃発した。

問1 空欄**ア** **イ**に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **28**

- | | | | | |
|---|---|-----|---|--------|
| ① | ア | 利益線 | イ | 甲午農民戦争 |
| ② | ア | 利益線 | イ | 江華島事件 |
| ③ | ア | 主権線 | イ | 甲午農民戦争 |
| ④ | ア | 主権線 | イ | 江華島事件 |

問2 下線部④に関連して、1870年代～80年代の鉄道業に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 29

- Ⅰ 新橋と横浜をつなぐ鉄道路線が開通した。
 Ⅱ 官営の東海道線が全線開通した。
 Ⅲ 日本初の私鉄会社として日本鉄道会社が設立された。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
 ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問3 下線部⑥に関連して、不平等条約の改正事業に関して述べた次の文X・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 30

- X 井上馨外務卿（外務大臣）の主導により欧化政策が推進され、東京日比谷に設けられたこの社交場で、外国要人を招いた舞踏会が開催された。
 Y 日露戦争後、この外相の尽力により日米通商航海条約が締結され、関税自主権が完全に回復した。

a ニコライ堂 b 鹿鳴館 c 小村寿太郎 d 幣原喜重郎

- ① X — a Y — c ② X — a Y — d
 ③ X — b Y — c ④ X — b Y — d

問 4 下線部㉔に関連して、日清戦争の講和条約である下関条約に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 31

- ① 条約締結の際の日本側全権は、山県有朋首相と陸奥宗光外相であった。
- ② 清が日本に支払う賠償金は、日本円で約 5 億円に相当する金額とされた。
- ③ 清は新たに沙市・重慶・蘇州・西安の 4 港を開くこととされた。
- ④ 清は日本に遼東半島・台湾・澎湖諸島を割譲することとされた。

B

第一号(前文略)

第一条 支那国政府ハ、 カ山東省ニ関シ条約其他^{その}ニ依リ支那国ニ対シテ有ユル一切ノ権利・利益・譲与等ノ処分^{つき}ニ付、日本国政府カ 政府ト協定スヘキ一切ノ事項ヲ承認スヘキコトヲ約ス。

第二号(前文略)

第一条 両締約国ハ、 大連租借期限 ^{ならびに} 竝 ^④ 南満州 及 安奉 兩鉄道各期限 ^{いつ} ^{さら} ヲ何レモ更ニ九十九ヶ年ツツ延長スヘキコトヲ約ス。

第三号(前文略)

第一条 両締約国ハ、将来適當ノ時機^{おい}ニ於テ漢冶萍^{かんやひよう}公司^{コンス}ヲ兩國ノ合弁トナスコト(中略)ヲ約ス。

第五号

一、中央政府ニ政治財政及軍事顧問トシテ有力ナル日本人ヲ^{ようへい}傭^(注)セシムルコト。

(『日本外交年表竝主要文書』)

(注) 傭：頼みこんで雇うこと。

問5 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- | | | | | |
|---|---|------|---|-----|
| ① | ウ | 独逸国 | エ | 長 春 |
| ② | ウ | 独逸国 | エ | 旅 順 |
| ③ | ウ | 伊太利国 | エ | 長 春 |
| ④ | ウ | 伊太利国 | エ | 旅 順 |

問 6 下線部㊸に関連して、南満洲鉄道株式会社に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① 孫文によって辛亥革命が進展し、日本が警戒を強めるなかで設立された。
- ② 台湾の植民地経営に深く関与した江藤新平が、初代総裁に就任した。
- ③ ポーツマス条約で日本がロシアから得たシベリア鉄道全線を経営した。
- ④ 満洲経営のための、半官半民の国策会社としての性格をもった。

問 7 Bの史料は二十一カ条の要求の一部であるが、これに関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 34

X 立憲同志会を与党とした第2次大隈重信内閣が、中華民国の袁世凱政府に対して要求を行った。

Y 欧米諸国が第一次世界大戦の渦中で混乱していたことを利用し、日本は中国にすべての要求を受け入れさせた。

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X 正 | Y 正 | ② X 正 | Y 誤 |
| ③ X 誤 | Y 正 | ④ X 誤 | Y 誤 |

問 8 Bの史料に関連して、この要求が出された時期の日本の産業に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

35

- a 綿糸の輸出高が、輸入高を初めて上回った。
- b 日本の紡績会社が上海などに進出し、在華紡と呼ばれた。
- c 電灯の農村部への普及や、工業原動力の蒸気力から電力への転換が進み、電気機械の国産化も進んだ。
- d 薬品・染料などの分野ではアメリカからの輸入が途絶えたため、化学工業が勃興した。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問 9 Bの史料に関連して、この要求が出された後の出来事に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

36

- ① 民族自決の国際世論の高まりを受けて、朝鮮で、日本からの独立を求める五・四運動が起きた。
- ② 日本では海外派兵の影響から、富山県での騒動を発端に米騒動が起き、原敬内閣が総辞職に追い込まれた。
- ③ 中国が、日本と結んだ取決めの撤回を求め、オランダのハーグで開かれていた国際会議に密使を送った。
- ④ 革命によって世界初の社会主義国家が誕生したロシアに、イギリス・フランスなどが干渉戦争を仕掛けた。

◆ 写 真 提 供 等 ◆

2025年度一般入試(1月31日)【世界史探究】

1)「^{うんこう}雲崗の石窟」 写真：アフロ

2025年度一般入試(1月31日)【日本史探究】

1)「龍安寺枯山水庭園」 写真：アフロ